

令和5年度第3回
千葉市社会福祉審議会高齢者福祉・介護保険専門分科会
あんしんケアセンター等運営部会議事録

- 1 日 時 令和5年12月21日（木）午後7時～午後8時30分
- 2 場 所 千葉市役所 2階XL会議室201・202
- 3 出席者 (委員)、井上 恵子、合江 みゆき、雑賀 匡史、島田 晴美、太齋 寛、
谷村 夏子、永井 一宗、初芝 勤、原田 克己、松崎 泰子、水谷 洋子
(敬称略)
(委員14名のうち11名出席)
(事務局) 富田健康福祉部長、前嶋地域包括ケア推進課長、清田高齢福祉課長、
藤原介護保険管理課長、渋谷介護保険事業課長、山田健康福祉課長補佐、
久保田在宅医療・介護連携支援センター所長、他10名
- 4 議 題
 - (1) 介護予防支援事業等の委託について
 - (2) 令和6年度千葉市あんしんケアセンター運営方針について
 - (3) 在宅医療・介護連携の推進について
- 5 議事の概要
 - (1) 介護予防支援事業等の委託について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
 - (2) 令和6年度千葉市あんしんケアセンター運営方針について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
 - (3) 在宅医療・介護連携の推進について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。

6 会議経過

	<p>～議題1 介護予防支援事業等の委託について～</p> <p>(前嶋地域包括ケア推進課長より、議題1 介護予防支援事業等の委託について説明を行った。)</p>
松崎部会長	議題1に関しましてご意見等、ございますでしょうか。
松崎部会長	千葉市内には全部で何か所の居宅介護支援事業所があるのでしょうか。
渋谷介護保険事業課長	千葉市内の居宅介護支援事業所数は約280か所です。
松崎部会長	委託の承認は運営部会で行いますが、やめるときは承認が必要ですか。
前嶋地域包括ケア推進課長	やめるときは承認はいただいております。
松崎部会長	他になにかございますでしょうか。 以上で議題1についてはご承認いただいたという事で終了させていただきます。
	<p>～議題2 令和6年度あんしんケアセンター運営方針について～</p> <p>(前嶋地域包括ケア推進課長より、議題2 令和6年度あんしんケアセンター運営方針について説明を行った。)</p>
松崎部会長	議題2に関しまして、ご意見等ございますでしょうか。
谷村委員	2点あります。1点目は総合相談支援で追記された「包括3職種の専門性を活かしたチームアプローチ」ですが、その後に記載されている「地域におけるネットワークを活用する」と相対して、フォーマルサービスとインフォーマルサービスをそれぞれ活用することを明確にするために追記したのでしょうか。
前嶋地域包括ケア推進課長	昨今あんしんケアセンターの総合相談支援は、相談数の増加のみではなく相談内容が複合化し困難なものが増えております。そこで包括3職種が、「それぞれの専門性を活かすチームアプローチにより、まずはセンター内で検討の支援をしていく、そして困難事例であればさらに地域のネットワークを活用する」という2段階のアプローチとなっています。

	<p>チームアプローチは総合相談支援の基本ですが今まで記載がなかったため追記しました。</p>
谷村委員	<p>2点目はお願いとなりますが、新旧対照表の右側に改定の意図を記載してもらえると分かりやすいと思います。</p>
前嶋地域包括ケア推進課長	<p>今後はいただいたご意見をふまえて対応いたします。また、あんしんケアセンターに運営方針を示す際には、より分かりやすいよう工夫いたします。</p>
松崎部会長	<p>他になにかございますでしょうか。</p>
原田委員	<p>資料2-1、2-2の「令和7年および令和22年を見据え」という書き出しは唐突でわかりにくいいため、この数字が何を示しているのか説明したほうがよいと思います。</p>
前嶋地域包括ケア推進課長	<p>令和7年であれば「団塊の世代がすべて75歳以上となる」という言葉を加えた方がわかりやすい、という理解でよろしいでしょうか。</p>
原田委員	<p>はい。</p>
前嶋地域包括ケア推進課長	<p>反映したいと思います。</p>
松崎部会長	<p>一般の方に対し分かりやすく工夫したほうがよいというご意見です。 そのほかご意見やご質問、確認事項などありますか。 共生社会の実現を推進するための認知症基本法が成立しましたが、あんしんケアセンターが具体的にどのように関わっていくべきか、など質問やご意見などございますでしょうか。</p>
合江委員	<p>千葉認知症相談コールセンターでの相談場面において、利用者から、ケアマネとの関わり方を質問されることがあります。 ケアマネの減少や高齢化という問題もみられはじめており、ケアマネ支援や資質向上への取組みなども今後の計画の中に組み込んでいただければと思います。</p>
前嶋地域包括ケア推進課長	<p>包括的・継続的ケアマネジメントについては、あんしんケアセンターは困難事例のサポートだけではなく、本来は保険者が積極的に行うべき「ケアマネの資質向上」のために、圏域のケアマネ向け研修の実施や、ケアマネの資格更新に必要な3時間研修等も実施しています。</p>

<p>雑賀委員</p>	<p>所管課としては、あんしんケアセンターのバックアップを行いながらも無理しすぎずに業務が継続できるよう、庁内の関係部署、特に保健福祉センター介護保険室との連携が必要と認識しております。</p> <p>ケアマネの人数を急に増やしていくことは難しいと思いますが、今のケアマネが安心して業務に取り組めるよう工夫したいと思います。</p> <p>ケアマネ事業を行っている立場から話をしたいと思います。現場のケアマネの資質についてですが、ケアマネがやるのが非常に多すぎる現状があります。ケアプランを作成し月1度訪問すればケアマネの仕事が成立するわけではなく、実際には生活に関することすべてがケアマネに相談されます。たとえばコロナワクチンの予約やマイナンバーカードの作成などです。そのようなことを行いながら日々の業務に取り組まなくてはなりません。このように、本来の業務以外のことをケアマネがやっているということを行政の方に把握して頂きたいです。このような理由でケアマネのなり手が減少しているという現状を理解し、ケアマネの負担を減らす活動をしていただけるとありがたいです。</p>
<p>松崎部会長</p>	<p>ケアマネは身近で相談しやすい立場のため利用者さんがいろいろと相談してしまうことから生じる現場の実情を報告して頂きました。</p>
<p>松崎部会長</p>	<p>議題2について承認いただいてよろしいでしょうか。</p>
<p>松崎部会長</p>	<p>～議題3 在宅医療・介護連携の推進について～ (久保田在宅医療・介護連携支援センター所長より、議題3 在宅医療・介護連携の推進について説明を行った。)</p>
<p>松崎部会長</p>	<p>議題3に関しまして、ご意見等ございますでしょうか。</p>
<p>松崎部会長</p>	<p>議題3について終了してよろしいでしょうか。</p> <p>全ての議題について説明、質疑応答が終了し閉会となる。</p>